

祐貞寺真宗関係史料 一括(8点)

祐貞寺真宗関係史料

ゆうていじしんしゅうかんけいしりょう

絹本著色蓮如画像 1 幅、紙本墨書六字名号 1 幅、紙本墨書御文(御文章)1 卷、紙本墨書蓮如弘法行状記断簡 1 幅、什物之記・口授相伝之記 1 卷、石州浄泉寺実成坊仰誓書状 1 卷、蓮如上人御絵伝来之由緒 1 枚、袱紗 1 枚

分野／部門

有形文化財／歴史資料

所有者

宗教法人 祐貞寺(ゆうていじ)

所在地

大阪市住之江区北島 3

紹介



絹本著色蓮如画像



紙本墨書六字名号

南加賀屋新田の加賀屋新田会所にあった本願寺派の庵室に、京都六条の油小路菱屋宗兵衛から嘉永 6 年(1853)に寄進された史料である。明治のはじめに庵室が廃絶し、現在は宝暦 5 年(1755)創建の祐貞寺に伝来している。

中でも蓮如画像は文明元年の蓮如裏書を同伴する。面相は通規の蓮如画像とは大きく異なり、瘦身で若々しい風貌である。同伴する縁起によれば、和州道誓に長禄元年(1457)に下付されたもので、文明元年(1469)に再度蓮如が裏書を加えたという。風貌からすると長禄頃の蓮如像にふさわしい。

この他に蓮如筆と伝える草書体墨書の六字名号や実如筆の 5 通の御文章などを含む。

室町期の真宗関係史料としても類例をみないものであるだけでなく、加賀屋新田の開発と京都の油商人の関連を示す史料としても興味深い。